輪島屋善仁

（わじまやぜんに）

輪島屋善仁は、江戸文化年間に塗師屋善仁によって創業されました。

輪島屋善仁のものづくりは、創業以来の家訓のひとつである
「漆・技・意匠は最上たるべし」を実践すべく、
「日本漆芸史上最良のものづくり」をテーマにしています。

そのため、『漆』は岩手県浄法寺で漆の森を契約栽培し、最高品質の漆を自家精製しています。『技』は、最高の塗りといわれた中世の黒・赤の復活を目指し、”善仁の黒” ”善仁の朱”を生み出しました。『意匠』においては、日本で唯一の漆芸専門のデザイン事務所を設立しました。
また、塗師文化の再構築のため復原した明治の町屋「塗師の家」は、輪島屋善仁の美意識を示すもので、”日本で最も美しい町屋”との声もいただいています。

WAJIMAYA ZEN-NI
輪島屋善仁
漆工芸
ARTS & CRAFTS OF "URU-SHI"
japanese lacquer art
EST.1813